

地域に根ざしたヨサコイに

地域の人々がふれあう場になればと、手探りで始めたこのイベントも、今ではたくさんのチームができ、質の高い演舞を披露していただくようになりました。



江州YOSAKOI組織委員会
押谷 小助 会長

ヨサコイのよさは、踊っている人の顔を見ればわかります。その一生懸命な姿、輝いている表情が、見る人にも感動を与えるのではないのでしょうか。現在、ヨサコイは全国に広がっています。でもそのスタイルは地域によって違います。それは、ヨサコイが自由な発想で踊れるからでしょうし、その踊りに地域性が感じられます。長浜でも、この地域ならではのユニークなものにしていきたいですし、ヨサコイを通じて人のつながりが広がってほしいと思います。このヨサコイが地域に根ざしたのものになるよう、ぜひ盛り上げていただきますようお願いいたします。



分たちのオリジナルを出そうという工夫されています。そうやってユニークな踊りの方が見ている人も楽しいです。
松井さん チームも手づくりですね。私たちはびわ地域にヨサコイをと思って、去年チームを作ったのですが、何も知らない者同士が集まったので、ちょっとしたルールも含め、いろいろ決めていかなければいけません。でも、みんなと相談しながら少しずつ形にし、軌道にのってくと楽しくなってきました。一から作っていくから自分たちのチームという感じがします。



からなのでしょうか。
大橋さん 楽しく踊ることはだれでもできる。ヨサコイでは、チームの枠を越えて一緒に踊る場がたくさんありますが、全然知らない人でも、一緒に踊れてしまいがち。踊ることによって人と人を結ぶ何かがあると思います。
野本さん 実際、一緒にがんばっている情がわいてきますね。いつの間にかチーム全体が家族みたいなつきあいをし、悩みも相談できるような関係になります。
松井さん 同じぐらいいの子を持つ親同士が気軽に相談できる場でもありますよ。そのうち相手も思いやる気持ちも出てきます。たくさんの人と接することで人間的にも成長するように思います。
押谷さん 子どもたちも、いろいろな世代の人と接することで学ぶことがたくさんあるように思います。あいつなんかも自然に出てくるし、会場のごみ拾いもみんながやっているから、当たり前のようにするようになる。何でも自然にするようになってきますね。
野本さん 私のチームでは、少しでも社会に貢献できたらと、福祉施設を訪問するのですが、施設の人に喜んでもらおうと、子どもたちが一生懸命に踊っています。人にやさしくする、思いやることを

★ チームをつくりたい、チームに入りたい人 ★

ヨサコイを始めるきっかけに、お気軽にご相談を。

仲間とチームを作りたい…

チームの立ち上げから簡単な振付指導までを行います。

どこかのチームに入りたい…

希望のチームがあれば代表者を、なければ希望のスタイルをお聞きしてチームを紹介します。

お問合せは、江州YOSAKOI組織委員会《浅井商工会内》(☎0194)へ。

最後にみなさんにメッセージを
全員 私たちも最初は、ヨサコイのことを何も知りませんでした。でも、ちょっとしたきっかけで参加することになって楽しく活動しています。ヨサコイって、基本はみんな楽しく踊ろうということだと思います。それが、見る人に伝わって、会場全体が楽しい雰囲気になればいいですね。
ヨサコイには、子どもも大人も、男性も女性も、みんなが一緒に楽しめる魅力があります。みなさんも一緒に楽しみませんか。



人との交流が人間的な成長を

体で体験してくれているのではないかと思います。

チームによって個性がありますね。

大橋さん ヨサコイって、鳴子を使うこと以外は特に決まりがないんです。だから、曲も振付も衣装も自由にできる。自分たちを自由に表現できるのも魅力ですね。
押谷さん 私たちの場合、曲づくりから振付までチーム内でしていますが、こういう手づくりなのが、いいですね。チームによって、自



年齢に関係なく、みんなで楽しめるのがいいですね。
七尾天神(伊藤さん・中央)



大人も子どもも地域みんなで楽しく踊っています。
宙舞童里夢隊(高津さん親子)



始めたばかりですが、いい踊りができるようにがんばります。
湖風夢り(杉山さん、中村さん)



イベント会場でみなさんに会えるのが楽しみにしています。
舞'n笑群(藤井さん、堀さん、北さん)



活動日にチームのみんなと会えるのが楽しみです。
A Z A I まんてん(木村さん・中央)



もう1度見たいと思える楽しい踊りをめざしています。
近江紅天女(下山さん、福田さん)



私たちだけでなく、見る人にも元気を与えたいですね。
江州大舞隊(大橋さん、宮崎さん、小野さん)

しよんこよ
インタビュー